

食品新聞

発行所 食品新聞社
<http://www.shokuhin.net/>
 大阪市北区南船場2-3-30
 郵便番号 530-0054
 電話 06(6381)4972
 東京 都 中央区千代田1-1-1
 郵便番号 104-0042
 電話 03(3552)3756-4031
 名古屋 市中区丸の内2-10-11
 リゾールの96 305号
 郵便番号 460-0002
 電話 052(221)5314
 (支 店) 広島・福岡
 © 食品新聞社 2018
 THE JAPAN FOOD NEWS
 創刊 1947年
 購読料 年額33,480円

隔 日 刊
 キュニーピー ライオン JPR

共同幹線輸送に着手

空荷抑制し生産性向上へ

キュニーピー、ライオン並びにレンタルパレット最大の日本パレットレンタル(以下JPR)は24日、海運を活用した九州・四国・関東間の幹線輸送を開始した。これまでトラックだけで各社が個別に行っていた工場・営業倉庫間、パレットを積んだトラックの空パレットの長距離輸送をモーターサイクルを絡めて共同化し、実車率の向上でCO2削減を目指す。

画期的な異業種連携

13年以降の深刻なドラッグ・パレット不足と物流費の上昇を克服し、異業種連携による画期的な異業種連携が行われている。同社は、東証2次市場から新門司港からパレット工業の高圧処理場までをフェリーで移動し、港でトラックを待たせ、そこからトラックで工場へ搬送し、空パレットをフェリーで東京港に運ぶ。さらにパレットを回収し、空パレットをフェリーで東京港に運ぶ。空パレットを回収し、空パレットをフェリーで東京港に運ぶ。空パレットを回収し、空パレットをフェリーで東京港に運ぶ。

菓子大手 第1四半期売上・伸び悩み傾向強まる

原料・包材高など利益圧迫

菓子大手メーカーの売上大手第1四半期決算が発表された。企業によって程度の差はあるが、どちらかといえは全体的に今期に入って売上伸びが鈍り、伸び悩み傾向が強まっている。利益面においても、原料や包装資材、物流費、人件費など各種コストアップをはじめ、企業によっては商品販売や取引制度見直しなどもあり、決して楽観できるような状況はない。今年度各地が不安視されるような状況に出ている。

明治の菓子セグメントにより、前第1四半期連営業利益が1.7%減。主力の高糖・6%減。営業利益は大幅に回復。売上高は前年同期比で1.7%減となった。今年4月からの取引用削減に起因する影響があった。今年4月からの取引用削減に起因する影響があった。

森永製菓の菓子食品部門は、「アイス」や「お菓子の王様」など前年比で1.6%減となった。アイスや「お菓子の王様」など前年比で1.6%減となった。アイスや「お菓子の王様」など前年比で1.6%減となった。

不二家は洋菓子事業が苦戦する中、製菓事業のうち菓子第2四半期が6%増と好調に推移した。アイスや「お菓子の王様」など前年比で1.6%減となった。

ポテトシヨックから回復へ

日本で新製品発表

今 麦 郎



即席麺の新時代切り開く

今麦郎 老若家連
 食 面館(日本)が、国内のコンビニ、ECCサインショップなどで発売した。今麦郎の「今麦郎」は、国内のコンビニ、ECCサインショップなどで発売した。今麦郎の「今麦郎」は、国内のコンビニ、ECCサインショップなどで発売した。

永谷園のかき揚げ海苔

家庭用高付加価値化加速へ。

4〜6醬油特集
6〜7製あん特集

味の素の醤油

長期縮小基調も家庭用高付加価値化加速へ。

あんこ値上げへ 小豆相場の高騰響く

つがふあん、こしあん等のあんこ製品が、小豆相場の高騰に伴い値上げに踏み切る方向だ。「自動努力で吸収してきたが、値上げせざるを得ない状況」という。小豆相場の高騰に伴い、あんこ製品の値上げが検討されている。

逆光線

19兆9千の「だる」に延べし400億で3千670万人が日本産産本部長(略)単純計算で3先月に発表人により打撃を受けた。世界市場への参入について、世界市場への参入について、世界市場への参入について。

ポテトシヨックから回復へ(続き)

益69.0%増、経常利益は78.0%増、四半期純利益は84.0%増、多額増益が実現した。ポテトシヨックの売上が回復している。

なるほど粒より。

ぜんぶ、こだわりあれ。

三幸製菓株式会社 950-3195 新潟市北区新崎2丁目6番1号 (025) 259-2139 <http://www.sankei-seika.co.jp/>